

| | | | | |
|-----------------------|---|------|---|----------|
| 1. 科目名 (単位数) | 保健科指導法Ⅱ (4単位) | | 3. 科目番号 | EDHE2348 |
| 2. 授業担当教員 | 石井 里佳 | | | |
| 4. 授業形態 | ◇課題提示→講義→演習・協議等→講義→振り返り など <例1> 導入：講義から自らの課題の把握→展開(演習)：自分の考えをまとめる→グループでの話し合い→グループの考えを発表→全体での協議→まとめ：協議と講義のまとめ <例2>演習(保健科指導法Ⅰで学習した指導法を生かした指導案の作成と模擬授業) 導入：講義(健康教育の指導の在り方)→展開(演習)：保健学習の指導案の作成→実際の学校の授業の参観→中学校3年の『病気の予防』の指導内容から課題を把握→指導案の作成→模擬授業→全体協議→まとめ：授業実践、授業の評価とまとめ | | 5. 開講学期 | 秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 保健科指導法Ⅰの単位を修得した後に履修することが望ましい。 | | | |
| 7. 講義概要 | (1) 保健学習に関する主要な概念を講義等で理解し、演習・協議等を通じて保健学習の概念を自ら描き、保健科教諭としての専門性を生かした授業力を高める。 (2) 保健科指導法Ⅰで学んだ内容を基礎として、保健科教育内容の構成や系統性、学習指導要領の内容の示し方、教材づくりなどについて学習する。 (3) 保健科指導法Ⅰで学んだ専門的知識や実践力を踏まえ、教育実習に必要な授業力を身につける 保健管理と保健教育の違いはもとより、保健学習と保健指導の違いに応じた保健教育を学習する。 | | | |
| 8. 学習目標 | (1) 生徒にとって楽しく分かる保健授業を目指した「教育内容、教材、指導方法」などの基礎と応用について、実践的・具体的に身に付けることができる。 (2) 文部科学省刊「中学校学習指導要領解説 保健体育編」と「高等学校学習指導要領解説 保健体育・体育編」の保健分野・保健科の内容等について理解したうえで、示された学習指導案形式に則った学習指導案を作成し模擬授業を行うことができる。 (3) 保健学習と保健指導の違いに応じた授業の展開を理解し説明することができる。 | | | |
| 9. アサシメント(宿題)及びレポート課題 | 次時の学習内容について、教科書等で予習してくることをアサシメントとする。 レポート課題は学習課題の事後指導の欄に記述されている通りである。 | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】 日本保健科教育学会編『保健科教育法入門』大修館書店、2018 文部科学省刊『中学校学習指導要領解説 保健体育編』東山書房、2018 文部科学省刊『高等学校学習指導要領解説 保健体育・体育編』東山書房、2019 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 保健体育 東洋館出版社、2020 【参考書・参考資料】 文部科学省刊『中学校学習指導要領』東山書房、2018 文部科学省『高等学校学習指導要領』東山書房、2019 森昭三、和唐正勝編著『新版 保健の授業づくり入門』大修館書店、2020 植田誠治編著『学校におけるがん教育の考え方・進め方』大修館書店、2018 福田洋、江口泰正『ヘルスリテラシー-健康教育の新しいキーワード-』大修館書店、2016 プリントなどの教材等は、毎時の授業で配布し使用する。 | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 1 期待されている保健科教育への対応に関する使命感を養うことができたか。 2 学習指導要領の目標及び内容について理解し説明できるようになったか。 3 知識を活用する学習活動を取り入れるなど、指導方法の工夫ができたか。 4 与えられた課題について積極的にグループでディスカッションができたか ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、模擬授業、レポート、指導案、基礎的理解テスト等を総合して評価する。] 1 授業への積極的参加 30% 2 模擬授業・指導案・レポート 50% 3 基礎的知識理解テスト 20% | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 本講義でも「保健科指導法Ⅰ」に引き続きポートフォリオを作ります。講義での記録や配布資料などを保存できるファイルやノート(A4サイズ以上が望ましい)を準備してください。 また、授業中は「1 座席は指定とする。」「2 正当な理由のない遅刻、早退、欠席をしないこと(止むを得ず欠席する場合は、書面を提出のこと)。」「3 携帯電話の操作及び私語の禁止。」を守ってください。 | | | |
| 13. オフィスアワー | 授業前後の休憩時間 | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | |
| 第1回 | 授業の進め方等オリエンテーション 保健科指導法Ⅰを踏まえて、より実践的な内容となることを把握する。 レディネスチェック | 事前学習 | 保健科指導法入門(以下教科書)および保健科指導法Ⅰのポートフォリオを読み直す。 | |
| | | 事後学習 | 授業づくりの手順と必要な要素について整理する。 | |
| 第2回 | 今日の健康課題1 学習指導要領から、今日の健康課題を検討する。 | 事前学習 | 中学・高校学習指導要領解説における保健の学習内容を熟読する。 | |
| | | 事後学習 | 今日の健康課題の改善を視点とした自身の保健授業の指導観について考える。 | |
| 第3回 | 今日の健康課題2 インターネットを用いて、関心を持った健康問題やニュ | 事前学習 | インターネットを用いて、レポートを作成する。 | |

| | | | |
|------|---|------|---|
| | ース、記事についての情報を入手し、その背景や科学的根拠をもとにディスカッションを行う。 | 事後学習 | インターネットの情報を、教材化する上での留意点などを整理する。 |
| 第4回 | 養護教諭による保健教育1 | 事前学習 | 養護教諭による保健教育のメリットと課題について考える。 |
| | | 事後学習 | 養護教諭による保健教育の概要について「整理する」。 |
| 第5回 | これから求められる健康観とヘルスリテラシー | 事前学習 | 配布した読み物資料(ヘルスリテラシー)を熟読し、レジュメを作成する。 |
| | | 事後学習 | ヘルスリテラシーの概念を整理し、子どもに必要な健康観について自分の考えを持つ。 |
| 第6回 | 養護教諭による保健教育2 | 事前学習 | 養護教諭による保健授業に関する資料を熟読する。 |
| | | 事後学習 | 養護教諭として保健授業を行う上でのニーズや課題とその改善策を考える。 |
| 第7回 | 教材づくり 学習内容の教材化 課題の設定について考える | 事前学習 | 資料(保健の授業づくり入門 pp.138~147)を熟読する。 |
| | | 事後学習 | 教材化に必要な要素を整理する。 |
| 第8回 | 発問、図表の資料、読み物資料を取り入れた授業 | 事前学習 | 保健科指導法Ⅰのポートフォリオを再度読み直す。 |
| | | 事後学習 | 課題や情報の提示の仕方についてその特性を整理する。 |
| 第9回 | 教材研究と指導案(細案)の作成1 医薬品の使い方 | 事前学習 | 担当校種の「医薬品の使い方」に関する学習内容や目標などを理解する。 |
| | | 事後学習 | 細案を改善する。 |
| 第10回 | 模擬授業に向けた教材研究1 学習指導要領と指導案の構造 | 事前学習 | 指導法Ⅰのポートフォリオおよび学習指導要領解説を熟読する。 |
| | | 事後学習 | 学習内容の系統性と目標の関係性について整理する。 |
| 第11回 | 模擬授業に向けた教材研究2 年間指導計画と単元計画、その他教科・学校教育活動との関連 | 事前学習 | 教科書 pp.79~86 を熟読する。 |
| | | 事後学習 | 保健教育の中の保健学習という視点から、養護教諭による保健授業の特性について考える。 |
| 第12回 | 教材研究と指導案(細案)の作成2 欲求やストレスと心の健康、精神疾患の予防と回復 | 事前学習 | 担当校種の「欲求やストレスと心の健康、精神疾患の予防と回復」に関する学習内容や目標などを理解する。 |
| | | 事後学習 | 「うつ病」「統合失調症」「不安症」「摂食障害」についての概要や指導する際に押さえるべきポイントについてレポートを作る。 |
| 第13回 | 擬授業に向けた教材研究3 授業の流れ(導入、展開、まとめ)をイメージする。 | 事前学習 | 教科書 pp.112~144 を熟読する。 |
| | | 事後学習 | 授業の展開の仕方について整理する。 |
| 第14回 | 模擬授業に向けた教材研究4 保健教育におけるアクティブラーニング | 事前学習 | 関連する内容の保健科指導法Ⅰのポートフォリオを熟読してくる。 |
| | | 事後学習 | アクティブラーニングの概念と授業の取り入れ方について整理する。 |
| 第15回 | 教材研究と指導案(細案)の作成3 家族計画と人工妊娠中絶 | 事前学習 | 「家族計画と人工妊娠中絶」に関する学習内容や目標などを理解する。 |
| | | 事後学習 | 細案を改善する。 |
| 第16回 | 模擬授業に向けた教材研究5 生徒の実態を把握する方法 アンケートの作成とその結果から生徒観を読み取る。 | 事前学習 | 教科書 pp.49~51 を熟読する。 |
| | | 事後学習 | 「生活習慣病」「性に関する指導」に関する授業前(診断的評価)のアンケートを作成する。 |
| 第17回 | 模擬授業に向けた教材研究6 板書の仕方と、資料や教材の示し方および準備物について | 事前学習 | 関連する内容の保健科指導法Ⅰのポートフォリオを熟読してくる。 |
| | | 事後学習 | より良い板書の仕方(文字の大きさや色、レイアウト)について整理する。 |
| 第18回 | 教材研究と指導案(細案)の作成4 保健・医療制度および保健・医療機関の活用 | 事前学習 | 担当校種の「保健・医療制度および保健・医療機関の活用」に関する学習内容や目標などを理解する。 |
| | | 事後学習 | 身近な「保健制度」「医療制度」「保健機関」「医療機関」について担当テーマのレポートを作る。 |
| 第19回 | 模擬授業に向けた教材研究7 テスト問題の作成 | 事前学習 | 教科書 pp.29~36 を熟読する。 |
| | | 事後学習 | 学習内容に沿った知識を活用できているかを評価するためのテスト問題を作成する。 |
| 第20回 | 模擬授業に向けた教材研究8 ICT機器を用いた授業づくり | 事前学習 | 教育現場で使われている ICT 機器について調べる。 |
| | | 事後学習 | 資料(指導案)をもとに、授業で用いるプレゼンテーションソフトを活用したスライドを作る。 |
| 第21回 | 教材研究と指導案(細案)の作成5 第二次性徴、心身の発達・発育 | 事前学習 | 担当校種の「第二次性徴、心身の発達・発育」に関する学習内容や目標などを理解する。 |
| | | 事後学習 | 細案を改善する。 |
| 第22回 | 授業改善に必要な視点 授業観察と検討会について | 事前学習 | 教科書 pp.108~110 を熟読する。 |
| | | 事後学習 | 授業の観察の視点の持ち方について整理する。 |

| | | | |
|------|---|------|--|
| 第23回 | 模擬授業および授業検討会1 | 事前学習 | 模擬授業の単元の目標や内容、授業評価の方法の視点を理解する。 |
| | | 事後学習 | 模擬授業の評価について整理する。 |
| 第24回 | 模擬授業および授業検討会2 | 事前学習 | 模擬授業の単元の目標や内容、授業評価の方法の視点を理解する。 |
| | | 事後学習 | 模擬授業の評価について整理する。 |
| 第25回 | 模擬授業および授業検討会3 | 事前学習 | 模擬授業の単元の目標や内容、授業評価の方法の視点を理解する。 |
| | | 事後学習 | 模擬授業の評価について整理する。 |
| 第26回 | 模擬授業および授業検討会4 | 事前学習 | 模擬授業の単元の目標や内容、授業評価の方法の視点を理解する。 |
| | | 事後学習 | 模擬授業の評価について整理する。 |
| 第27回 | 模擬授業全体の振り返り 指導案修正する。 | 事前学習 | 自身の授業評価の結果をまとめる。 |
| | | 事後学習 | 修正した指導案を完成させる。 |
| 第28回 | 授業づくり1 2つのグループに分かれ、各担当単元の授業の流れや、 教材や資料を作る。 | 事前学習 | 指導案に沿って中学生生徒に分かる授業を行うための教材を作成したり、発問や板書計画などを確認しておく。 |
| | | 事後学習 | |
| 第29回 | 授業づくり2 2つのグループに分かれ、各担当単元の授業の流れや教材、 資料を作る。 | 事前学習 | 指導案に沿って高校生生徒に分かる授業を行うための教材や発問計画、板書計画などを作成し、その要点を確認しておく。 |
| | | 事後学習 | |
| 第30回 | 全授業の振り返り 保健授業を行う際の自分の強みや、現場に行くまでに克服 したいことを整理し、互いにアドバイスをし合う。 まとめチェックテスト | 事前学習 | 自身と仲間の授業評価について整理し、互いに指摘し合うことで、自身の保健指導についての強みや教育実習までに改善する点を明確にする。 |
| | | 事後学習 | |